

# NEWS RELEASE



## 帝国ホテル 大阪

<http://www.imperialhotel.co.jp>

2024年（令和6年）11月26日

古典落語や新作落語にも爆笑を生み出す笑福亭福笑が贈る、  
抱腹絶倒の落語会

### 第10回 帝国ホテル寄席 ～惚れた病に薬なし～

<予約受付 2024年11月28日（木）10:00より>

日時： 2025年2月16日（日）19:00～20:30  
会場： 八重の間（5階）



（写真左から） 「口入屋」笑福亭 福笑、「延陽伯」林家 染雀  
（写真右上） 「崇徳院」笑福亭 たま （写真右下） 「厩火事」桂 米輝

帝国ホテル 大阪は、2025 年 2 月 16 日(日)に「第 10 回 帝国ホテル寄席」を開催します。予約受付は 2024 年 11 月 28 日(木)10:00 からです。

当ホテルでは、上方落語の定席である天満天神繁昌亭の近隣に位置しており、開業当初より地域の文化を大切に、関西・大阪の芸能文化に関わる発信に努めてまいりました。

10 回目の開催となる今回も、古典落語、新作落語ともに破天荒な演出で爆笑を生む上方落語界きっての爆笑派 <sup>しょうふくていふくしょう</sup>笑福亭福笑・たまの師弟に、評判の中堅 <sup>はややそめじゃく</sup>林家染雀、若手のホープ <sup>かつらよねき</sup>桂米輝をゲストにお迎えし、「惚れた病に薬なし」をテーマに、今も昔も変わらぬ恋路を描いた落語会を開催します。

寄席のみを楽しんでいただけるプランの他に、カジュアルレストラン「カフェ クベール」や中国料理「ジャスミンガーデン」でワンドリンク付ディナーをセットにしたプランも販売します。

「第 10 回 帝国ホテル寄席」の概要は以下の通りです。

## < 概 要 >

- 【日 程】 2025 年 2 月 16 日(日)  
予約受付:2024 年 11 月 28 日(木) 10:00 より
- 【会 場】 [ディナー] カジュアルレストラン「カフェ クベール」(2 階)  
中国料理「ジャスミンガーデン」(23 階)  
[寄 席] 八重の間(5 階) ※予定
- 【時 間】 [ディナー] 「カフェ クベール」17:00～、「ジャスミンガーデン」17:30～  
[寄 席] 19:00～20:30
- 【料 金】 [ディナー付] 「カフェ クベール」11,000 円、「ジャスミンガーデン」19,000 円  
[寄席のみ] 前売り 4,500 円、当日 5,500 円  
※消費税込。ディナー付はお料理・ワンドリンク付、サービス料・消費税込。
- 【演 目】 <sup>くちいれや</sup>「口入屋」笑福亭 福笑 <sup>えんようはく</sup>「延陽伯」林家 染雀  
<sup>すとくいん</sup>「崇徳院」笑福亭 たま <sup>うまやかじ</sup>「厩 火事」桂 米輝
- 【出 演】 ◇笑福亭 福笑 (しょうふくてい ふくしょう)

1968 年 6 代目笑福亭松鶴に入門。笑福亭一門の中でも爆笑派で古典・新作の両刀使い。苦味ばしただみ声に、上下を使わないしゃべりの型は迫力があり、毎年独演会には熱狂的なファンが詰めかける。天満天神繁昌亭を最も沸かせている <sup>はなしか</sup>噺家の一人。



◇林家 染雀 (はやしや そめじゃく)

1992年 林家染丸に入門。音曲噺や芝居噺を得意とする一方、桂あやめとの音曲漫才コンビ『姉様キングス』としても活躍。  
2002年 なにわ芸術祭新人賞、  
2017年 文化庁芸術祭優秀賞、  
2017年 繁昌亭大賞。



◇笑福亭 たま (しょうふくてい たま)

1998年 笑福亭福笑に入門。初心者から好事家まで楽しめる落語を目指している。  
2004年 文化庁芸術祭新人賞、  
2017年 国立演芸場花形演芸大賞、  
2021年 繁昌亭大賞など多数受賞。



◇桂 米輝 (かつら よねき)

2011年 桂米團治に入門。古典落語はもとより、シュールな新作落語にも積極的に取り組んでいる期待の若手。  
2017年 上方落語若手噺家グランプリ優勝、  
2023年 繁昌亭新人賞。



- ※ お席は全席指定とさせていただきます。座席位置はご指定いただけません。
- ※ 出演者は予告なく変更となる場合がございます。

＜ご予約・お問い合わせ先＞  
帝国ホテル 大阪 宴会イベント係  
TEL. (06) 6881-4650 (直通 10:00～19:00)